

和解と希望



2026年2月28日 第9課

2 コリント 5:21 口語訳

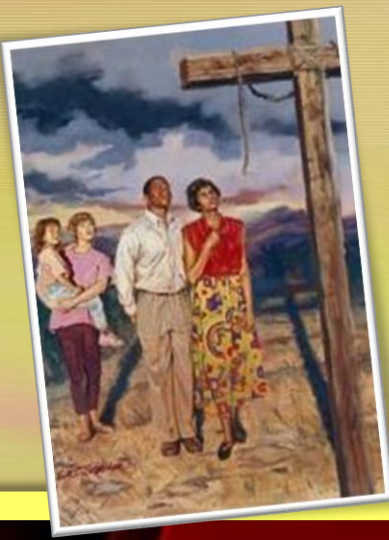
神はわたしたちの罪の
ために、罪を知らない
かたを罪とされた。
それは、わたしたちが、
彼にあって神の義と
なるためなのである。



2 コリント 5:21 新共同訳

罪と何のかかわりもない
方を、神はわたしたちの
ために罪となさいました。
わたしたちはその方によ
って神の義を得ることが
できたのです。





キリストの十字架が天と地を和解させた（コロ1:20）と述べた後、パウロはこの和解が私たちにもたらす実践的な効果について説明を続ける。

この出来事は私たちをどのように変えたのでしょうか？ 神はどのようにこれらのことを見通されたのでしょうか？ 他の人々が和解し、希望を持てるように、私たちは何ができるのでしょうか？



福音による和解と希望

和解の効果

悪い行いからの
和解
(コロ 1:21-22)

もし信仰に踏み
とどまるなら
(コロ 1:23)

平和

神の永遠の計画
(コロ 1:24-25)

明らかにされ
た神の秘め
られた計画
(コロ 1:26-27)

福音の力

福音の力
(コロ 1:28-29)

和解の効果

悪い行いからの和解

あなたがたも、かつては悪い行いをして神から離れ、心の中で神に敵対していた。

しかし今では、御子はその肉のからだにより、その死をとおして、あなたがたを神と和解させ、あなたがたを聖なる、傷のない、責められるところのない者として、みまえに立たせて下さったのである。(コロサイ 1:21-22)

問題は単純である。私たちは悪を行って生きてきた。それゆえ、永遠の死に定められていたのである(ロマ6:23、黙21:8)。



イエスは私たちの罪の代価を支払うために十字架で亡くなりました(ロマ5:8)

私たち自身では、この状況を変えることも、救いの代価を支払うこともできなかった(詩49:7-8)。

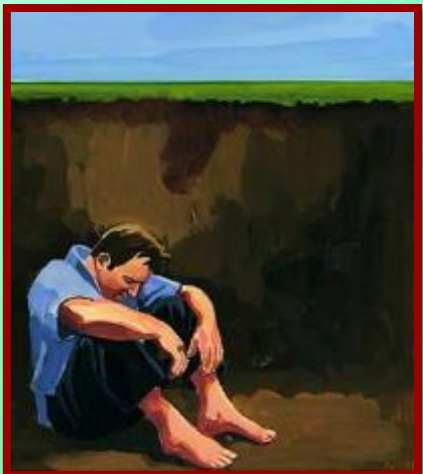
信仰、悔い改め、そして洗礼を通して、私たちは罪から解放され、神の前に傷のない、非難されるところのない者となります(義認)
(ロマ5:10、コロ1:22)



しかし神は私たちのために偉大な計画を用意しておられた：



聖霊の働きを通して、私たちの生活は徐々に変えられ、私たちは神の前に聖なる者となります(聖化)
(ロマ8:1、2コリ5:17)



あなた自身を見つめ、あなたの性格と
心の奥底（本心）を見つめるとき、
その光景は十字架の必要性について
あなたに何を教えてくれるでしょうか。

「もし」信仰に踏みとどまるなら

ただし、あなたがたは、ゆるぐことがなく、しっかりと信仰にふみとどまり、すでに聞いている福音の望みから移り行くことのないようにすべきである。
(コロサイ 1:23a)



私たちはすでに義とされ、聖化されつつありますが、旅はまだ終わっていません。道に迷い、目的地に到達できない危険があります。だからこそ、パウロは私たちに3つのことを勧めているのです（コロ1:23a）。

信仰を持ち続ける

牢獄から解放された後、扉が開かれるまでたたき続けたペテロのように、粘り強くありなさい。

(使 12:11-16)



・・・に基づいて

私たちの信仰は聖書で学んだ真理に基づいた堅固なものでなければなりません



揺るぎなく

私たちは揺るぎなく、「福音の希望」を信じることを決してやめてはならない。

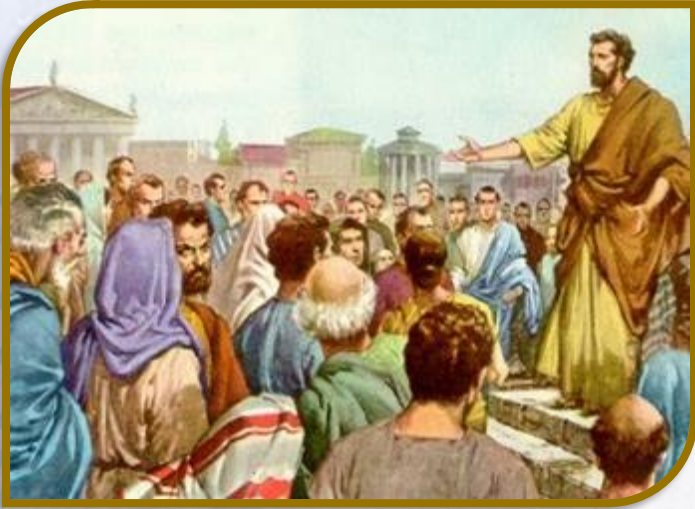


信仰を保ち続けることの重要性についての
あなたの経験はどのようなものでしたか。
つまり、なぜ常に意識的に信仰を保ち続ける
選択をしなければならないのでしょうか。
そうしなければ、どうなるのでしょうか。

平和

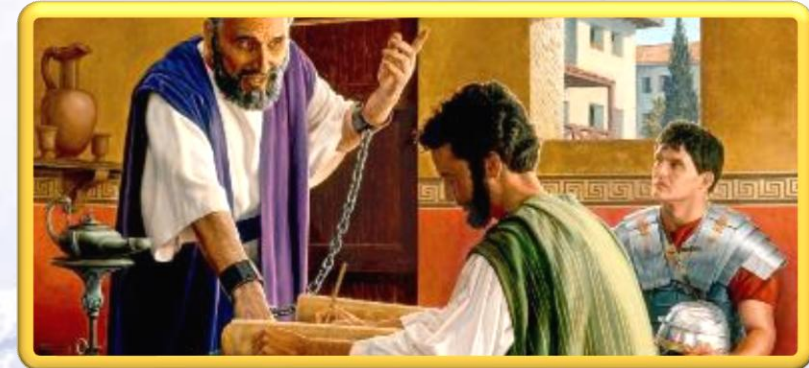
神の永遠の計画

わたしは、神の言を告げひろめる務を、あなたがたのために神から与えられているが、そのために教会に奉仕する者になっているのである。(コロサイ 1:25)



すでに見てきたように、神の救いの計画はイエスの死に基づいており、私たちの義認と聖化を含んでいます。しかし、重要な点が欠けていました。それは、私たちがこの計画を受け入れるためには、何らかの形でそれを知る必要があるということです。私たちにそれを明らかにしてくれる誰かが必要なのです。

ここで「神の御手」（状況や思考、人々などを整える神の御業）が働くのであり、パウロはその奉仕者であった（コロ1:25）。



パウロは、苦難を伴うにもかかわらず、この計画に参加できたことを喜びました（コロ1:24）。ローマで逮捕されてから死ぬまで、彼は新約聖書に収められている14通の手紙のうち少なくとも7通を執筆しました。

パウロは神の計画において重要な役割を担い、それを喜びとしていました。私たちも、他の人々をキリストの知識へと導くことによって、この計画に加わることができます。それが私たちの喜びです。

あなた自身の人生について
考えてみてください。

あなたが下す決断（大小問わず）は、
神の壮大な計画の中で
どのように位置づけられるでしょうか。
決断が実際に「小さい」ものなのかどうか、
私たちは本当にわかるのでしょうか。

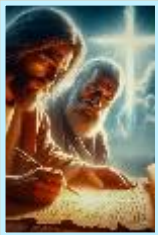
その決断が、後になって
初めて明らかになるような、
もっと大きな影響を及ぼす可能性は
どの程度あるでしょうか。



明らかにされた神の秘められた計画

その言の奥義は、代々にわたってこの世から隠されていたが、今や神の聖徒たちに明らかにされたのである。(コロサイ 1:26)

パウロは、キリストの復活後に教会に啓示された神秘について語っています(コロ1:26)。それまでは、その神秘はわずかに見えただけでした。では、この神秘とは何でしょうか。「あなたがたのうちにあるキリスト、栄光の希望」(コロ1:27)です。



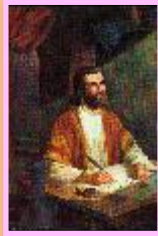
それは世界の創造以前
に定められていた
(1ペテ 1:20)



それは天使たちにも
部分的に伝えられた
(1ペテ 1:12)



アダムとエバに初めて
示された(創3:15)



それは預言者たちに
啓示されました
(1ペテ1:10-11)



イエスはまずユダヤ人
にそれを明らかに
された(マタ15:24)



そして、それはすべての
人の前に明らかに
されたのである。
(コロ1:27)

この神秘には、まだ解明されるべき段階が残っています。今、私たちは栄光を受けるといふ希望を持って生きています。なんと大きな変化でしょう。なんと大きな神秘でしょう。罪深い人々は、イエスの贖いの血によって義とされ、聖化され、栄光を受けるのです。この神秘は、永遠に学び続けられるでしょう。



神の秘められた計画（口語訳：神の奥義）に言及している次の聖句は救済計画のさまざまな側面を、いかに明らかにしていますか。

(1) エフェソ（エペソ） 1:7～10 1:7 わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです。1:8 神はこの恵みをわたしたちの上にあふれさせ、すべての知恵と理解とを与えて、1:9 秘められた計画をわたしたちに知らせてくださいました。これは、前もってキリストにおいてお決めになった神の御心によるものです。1:10 こうして、時が満ちるに及んで、救いの業が完成され、あらゆるものが、頭であるキリストのもとに一つにまとめられます。天にあるものも地にあるものもキリストのもとに一つにまとめられるのです。

(2) エフェソ（エペソ） 3:3～6 3:3 初めに手短かに書いたように、秘められた計画が啓示によってわたしに知らされました。3:4 あなたがたは、それを読めば、キリストによって実現されるこの計画を、わたしがどのように理解しているかが分かると思います。3:5 この計画は、キリスト以前の時代には人の子らに知らされていませんでしたが、今や“霊”によって、キリストの聖あらかじめ知られていたのであるが、この終りの時に至って、あなたがたのために現れたのである。ロマ**16:25-26**（口語訳）16:25-26 願わくは、わたしの福音とイエス・キリストの宣教とにより、かつ、長き世々にわたって、隠されていたが、今やあらわされ、預言の書をとおして、永遠の神の命令に従い、信仰の従順に至らせるために、もろもろの国人に告げ知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを力づけることのできるかた、Ⅱ コリ**3:14**（口語訳）3:14 実際、彼らの思いは鈍くなっていた。今日に至るまで、彼らが古い契約を朗読する場合、その同じおおいが取り去られないままに残っている。それは、キリストにあってはじめて取り除かれるのである。エペ**1:7～10**（口語訳）1:7 わたしたちは、御子にあって、神の豊かな恵みのゆえに、その血によるあがない、すなわち、罪過のゆるしを受けたのである。1:8 神はその恵みをさらに増し加えて、あらゆる知恵と悟りとをわたしたちに賜わり、1:9 御旨の奥義を、自らあらかじめ定められた計画に従って、わたしたちに示して下さったのである。1:10 それは、時の満ちるに及んで実現されるご計画にほかならない。それによって、神は天にあるもの地にあるものを、ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめようとされたのである。エペ**3:3～6**（口語訳）3:3 すなわち、すでに簡単に書きおくれたように、わたしは啓示によって奥義を知らされたのである。3:4 あなたがたはそれを読めば、キリストの奥義をわたしがどう理解しているかがわかる。3:5 この奥義は、いまは、御霊によって彼の聖なる使徒たちと預言者たちとに啓示されているが、前の時代には、人の子ら**14**なる使徒たちや預言者たちに啓示されました。3:6 すなわち、異邦人が福音によってキリスト・イエスにおいて、約束されたものをわたしたちと一緒に受け継ぐ者、同じ体に属する者、同じ約束にあずかる者となるということです。

福音の力

福音の力

わたしたちはこのキリストを宣べ伝え、知恵をつくしてすべての人を訓戒し、また、すべての人を教えている。それは、彼らがキリストにあって全き者として立つようになるためである。(コロサイ 1:28)



パウロはどのように福音を宣べ伝えたのでしょうか。彼の説教の中心は、十字架につけられたキリストでした（1コリ 1:23）。人々がイエスを受け入れると、パウロは彼らを戒め、教え、彼らが完全になるまで続けました（コロ 1:28-29）。彼はどのようにこれを行なったのでしょうか。



彼は彼らにキリスト教の教義と実践を説明した（2テサ2:15）

イエスは福音を拒否することの結果について警告しました（ヘブ10:25-29）

イエスは偽教師の危険性について警告しました（使20:29-30）



ちょっと待って…彼らを完全にする？しかもほんの数人じゃなく…
「すべての人」を！
（コロ1:28b）

「成熟した」と訳されているギリシャ語（テレイオス）は、完全で欠陥のないことを意味します。クリスチャンとして成長する過程を通して、私たちは神の律法の深さとその要求を深く理解するようになります。ですから、私たちの目標は、キリスト・イエスにあって完全になることです。

「キリストに結ばれて完全な者となる」
〔口語訳「キリスト・イエスにあって
全き者・・・になる」〕（コロ**1:28**）とは
どういう意味だと理解していますか。
十字架でイエスが私たちのために成し遂げ
られたことを理解することは、
「キリストに結ばれて完全な者となる」
〔口語訳「キリスト・イエスにあって全き
者・・・になる」〕の意味を知る上で、
どのように役立ちますか。

「十字架につけられたあがないの主をみつめる時に、われわれは、天の大君によって払われた犠牲の大きさと意味とをもっと十分に理解するようになる。救いの計画はわれわれの前に輝き、カルバリーの思いはわれわれの心に生き生きとした聖なる感情をよびさます。神と小羊への賛美がわれわれの心とくちびるに宿る。なぜならカルバリーの光景をいつも生き生きと記憶している魂のうちには、高慢と自己崇拜の思いは栄えることができないからである」。

EGホワイト (各時代の希望、第72章)